



バック・エックス

# 今だからこそ開いている “勝ち組へのドア”

## 活発化するM&A 2～3年がチャンス!?

東北地方のあるホール経営者は、「昨年だけで、20件を超える案件が持ち込まれた」と語る。東海地方のある経営者も、「少なくとも見積もっても、30件以上は来ましたね」と証言する。

これはM&Aの打診があった数だ。ここ数年、ホールの事業承継が急激に活発化(表参照)。2016年に大阪のキコーナホールディングスが茨城の金馬車(20店舗)を、昨年末に群馬のNEXUSが長崎のパラダイス(12店舗)をM&Aしたことは、記憶に新しい。

M&Aによる系列店の急増。これにより、活性化しているのが転職市場だ。企業風土の違いから、買われた側の社員が一定数、辞めてしまうことによるもので、残るのは、「7～8割程度」というのが専門家の見方。社員が50人の企業ならば、10～15人足りなくなる計算だ。



統括マネージャー 山田 堅一

1985年2月4日、埼玉県秩父市生まれ。2007年4月、新卒でバック・エックス入社。これまでに2000人近くの転職を支援。いわゆる聞き上手で、人物に対する分析力に優れ、求職者自身も気づかなかった方向性を見出すことを得意とする。

れまでにないチャンスが巡ってきていると捉えてほしい」と話すのは、バック・エックスの山田堅一統括マネージャー。

「新卒採用をメインに据えている大手・準大手の中には、中途採用に積極的ではない法人さまが多数ありました。ただ、M&Aする中で、プロパー(生え抜き)の社員だけでは賄えなくなっているのが現状。優良企業であっても、そもそも人材不足なのですから」と言い換えると、行きたくても行けなかった「福利厚生がしっかりしていて、将来性が十分」のホール企業が、今、門を開け放つて人材の確保に動いているということだ。

「私も業界歴12年になりますが、これまで、中小ホールの従業員が大手や準大手のホールに行けることは、本当に稀でした。しかし、現状はその逆。キャリアアップする好機なのです。努力を重ね、実績を上げれば、上に取り立ててくれる会社が、目の前にある」と認識してほしい」と、山田統括マネージャーは強調する。

## 相対評価から絶対評価へ 若手社員に好機

しかも、M&Aで拡大している企業は、募集の絶対数が違う。通常のホール企業の求人が数名なのに対し、数十人単位で募集をかけるのだ。その結果、募集人員の全体数も膨み、求職者にとって、過去にないくらい選びやすい状態に。

採用の際の評価基準も、相対評価から絶対評価へ。絶対評価とは単純に、「良ければ、みんな採用」ということ。「10人から3人選んでいた」ものが、「やる気があるなら、10人とも雇ってしまえ」という方針に転換しつつある。

「ですので、店長を筆頭に、班長・主任・副店長クラスには、本当に大きなチャンスが待っています。とりわけ、厳しい業況を乗り越えるためのスキルを有している店長経験者のニーズは、非常に大きいといえるでしょう」

冒頭の経営者の言葉を持ち出すまでもなく、M&Aは今後、ますます加速するだろう。関西の有力ホールの経営者も、「この業界で生き残るためにも、いい物件があったら、すぐにも買いたい」と述べている。転職希望者には、絶好の舞台が用意されているのだ。

山田氏は最後に、「業界全体の縮小を不安視する方もいますが、『残る会社は確実にある』と言いたい。要は、選ぶ企業を間違えないこと。ぜひ、そのお手伝いをさせていただきます。」

## ホール企業による 最近の主なM&A事例

2012年 8月	ビーアークHDが、7店舗を展開するラフェスタを子会社化
2015年 9月	フローバHDの子会社フロバ島根が、中央商事の4店舗を事業承継
2015年 10月	アンダーツリーが、20店舗を展開する金馬車の社名をアンダーツリー東京に変更した上で、子会社化
2015年 11月	ダイナムジャパンHDが、39店舗を展開する夢コーポレーションを子会社化
2015年 11月	遊楽が、8店舗を展開するワイズコーポレーションを傘下に
2016年 6月	アンダーツリーの子会社・レッドウッド(現タウンライト)が、神友商事の6店舗を事業承継
2016年 9月	タイエーが、仙台観光の10店舗を事業承継
2016年 10月	正栄プロジェクトが、5店舗を展開するスーパートゥデイを子会社化
2016年 12月	フローバHDの子会社フロバ島根が、洪商事の2店舗を事業承継
2017年 2月	アンダーツリーの子会社キコーナロード(現タウンライト)が、藤光の7店舗を事業承継
2017年 3月	ビーアークHDが、2店舗を運営するNEOPARISを子会社化
2017年 9月	フローバHDが、広島県のホール企業から3店舗を事業承継
2017年 9月	延田カンパニーが、ゲンダイグループの6店舗を事業承継
2017年 11月	NEXUSが、バラダイス(12店舗)を子会社化
2018年 1月	アミューズが(三宝(1店舗)を吸収合併)
2018年 1月	アンダーツリーがサンロードの1店舗を事業承継

せていただきたい。他業界に行くのは、それからでも遅くないはずですよ」と力説した。